

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、**従業員満足度の向上**、**業務効率の改善**

業種：医療・福祉（介護施設・介護保険サービス事業所運営）

企業名：株式会社航和（岩手県雫石町）

【従業員数：56名】

クラウド実践により事務作業の効率化で、介護現場の離職率を改善

1 経営課題

・介護現場での増え続ける申請等に係る事務作業の効率化、介護士間の情報の共有化が課題。この課題をクリアし介護士の本来の業務である「利用者様のケア」により多くの時間を割けるようにする。

2 クラウド実践による課題解決

・クラウド活用を検討し始めた当時（2014年頃）、介護業界ではITシステムは普及しておらず、メモ管理ツール「evernote business」を導入し事務作業、情報の効率化に取り組んだ。
・「evernote business」はテキスト、画像、音声、web ページなどあらゆる情報をクラウド上に保存し、メンバー全員がさまざまなデバイスで共有・編集できましたが、介護のシステムとは連動できなかったため、入力が二度手間であった。
・2017年、情報共有が可能な介護システム会社のサービスに移行し、事務作業の軽減、情報の効率化を実現した。現在、体温計や血圧計などの機器を Bluetooth で連動させ、入力作業を大幅に軽減している。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：5年(evernote)、2年（ほのぼの NEXT））

- ・株式会社 NTT ドコモ evernote business
- ・ND ソフトウェア株式会社 ほのぼの NEXT

4 課題解決に向けた組織運営

・経営トップ方針と全社一丸での推進運営、介護部長を中心に施設長、管理者に伝えシステムを導入。

5 実践事例の成果

・資料は紙ベース。情報共有や検索に手間と時間がかかっていたが、クラウドで情報共有。必要な情報を簡単・高速に検索が可能となった。
・また、体温計や血圧計などの機器を Bluetooth で連動させ、ボタン1つでタブレット・パソコン入力が済むようになる。ボタン入力も省け、業務時間が1/2に短縮した。
・離職率が、2015年28%→2018年10%に改善した。